

施設の概要

名称	南魚沼市環境衛生センター		魚沼市エコプラント魚沼	
区分	可燃ごみ処理施設	不燃ごみ処理施設 (別棟)	ごみ焼却施設	不燃・大型ごみ処理施設 (合棟)
処理対象地域	南魚沼市(六日町地域・塩沢地域)、湯沢町		魚沼市、南魚沼市(大和地域)	
処理対象人口	50,531人		48,918人	
処理能力	110t/日(24時間)	30t/5時間	95t/日(16時間)	23t/5時間
処理方式	酸素式熱分解直接 溶融方式	粗大ごみ併用 処理方式	准連続回転型 流動床方式	粗大ごみ併用処理方式
処理開始	平成16年4月	平成9年4月	平成7年4月	
可燃ごみ袋料金 (45ℓ用)	50円/枚		32円/枚	

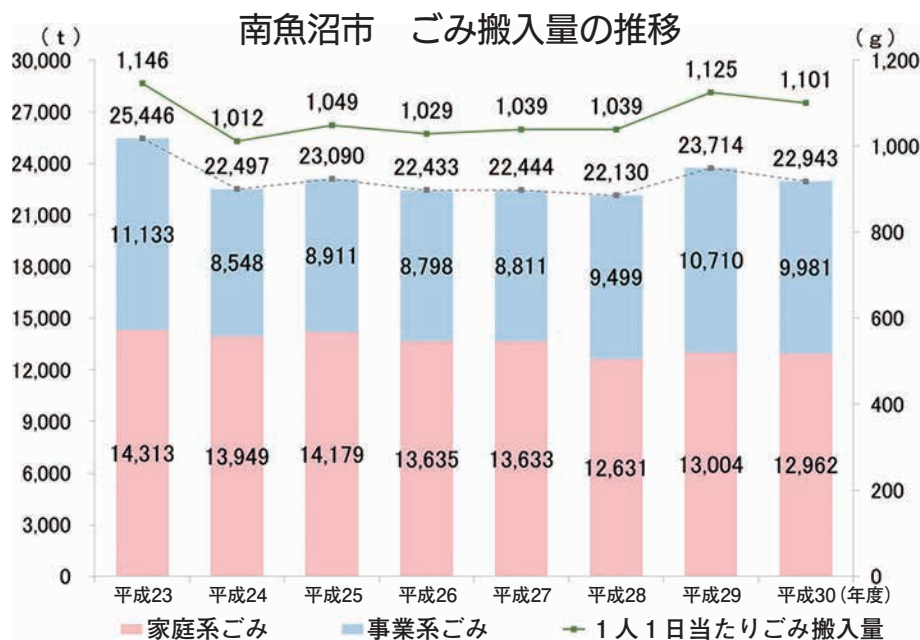
ごみ量の推移(施設への搬入量)

南魚沼市のごみは、年によって多少の違いはあるものの、ごみ量の約6割が家庭系のごみで約4割が事業系のごみです。その合計量を人口で割ると、1人当たり1日に約1.1kgのごみを出していることになります。

下のグラフは、近年のごみ搬入量の推移を表しています。ごみの総量に大きな変化はありませんが、家庭系のごみは人口の減少などにより少しずつ減少しています。しかし、事業系のごみが若干増えていることから、1人当たりが1日に出すごみ量はやや増加していることになります。



博士、事業系のごみってなあに？



事業系のごみとは、事務所や飲食店などから出るごみの中で、事業活動が盛んな地域は事業系のごみも多い傾向にあるんじゃ。



これからのごみ量

今後の南魚沼市の家庭系のごみ量は、人口の減少とともに、年々少しずつ減少していくと予想されます。

一方、会社やお店などから排出される事業系のごみは、近年は大きな変化なく推移している

ことから、今後も横ばいで推移するものと予想されます。ただし、市内の産業の変化によっては増減の可能性もあります。

家庭系のごみと同様に、事業系のごみの排出に関しても、分別とリサイクルに努め、南魚沼市一丸となってごみの減量化に取り組む必要があります。